

敬老の日に思う

下谷 尾崎 義徳



九月十五日は例年のことながら大田市を始め大代町内各団体の方々の心からなる援助と温かい「モチナシ」に對してお礼申し上げます。

当日お礼にも申し上げましたが戦後も既に三八年になります。今七〇才の人は当時三二才、八〇才の人は四二才で働き盛りでしたから食糧増産に等日なく、米は勿論、麦にカボチャまで供出して敗戦の日本人の食糧に貢献したのですが、今の様に物資の沢山有る時から見れば夢の様です。

然しこれも豆腐の大豆を初め卵・牛・豚・鶏の肉に至る迄、外国の輸入飼料に依存して居ることは周知の通りです。昔の困難な時代を知って居る私達は、これで良いのかと悲しい思いがいたします。

何んとか社会機構を改めないと言々、日本も行きつまり先進国に追越されるのではないかと心配です。現に日本の造船界などは韓国の安い労賃金に追越されて不景に落ちています。

こんな具合に経済大国と思つて居る間に物価の上昇や給与の引上げを目的にストをして居ると将来、思わぬ不幸の騷りも見えて来ることが昔日の日本の歩みを知る私達は、今後日本が過去を充分考えて進まないとは大変な事になる気がしてならないのです。

敬老の日は、私達の身辺なり色々と考える日に致したいと思ひます。

田植ばやしを伝承して

中学三年 大葉 明 美

私達三年生にとつて、九月十五日の敬老の日の公演が最後になってしまいました。

今年は胴に女子生徒五人が入りました。始めはどうなることかと思ひました。保存会の人達に、指導してもらいました。そのお蔭もあつてか、皆うまくなりました。初めの中は戸惑うこと

も多かつたけれど、皆にもやる気が出てきて調子も揃つてきました。胴の人の笠の向きがあつてきれいに揃うようになりました。

男子に交つて女子の胴は、体力的にも劣るのでたいへんだったと思ひます。公演の日は素晴らしかったです。

今、きびしい練習も終わつてみれば、なつかしい思い出として、よい経験だったと考へています。他の学校では経験できない郷土芸能を伝承することの意味が、少しわかつてきたように思ひます。

敬老会を御手伝いして

平 田 辺 つるよ



敬老会も無事に終り、本格的な取入時になりました。

毎年の事ですけれども、お世話される方、参加される方、本当に御苦労様です。お年寄りの方を敬うため、年に一度こうして一生けんめい練習をされて、歌つて踊つて本当に楽しい一日です。私も炊き出しのために、この五年は

かりお手伝いをさせて頂いています。最後の盆踊りについても、大変、好評でした。

こうして町民揃って、長い間の御苦勞をねぎらい、心から祝福して上げる事が出来るのは、本当に嬉しくもあり有難い事でもあります。

どうかお年寄りの方は、お体を大切にされて又、明日に向って頑張ってください。そして私達も来年に向って最大の努力を傾注する所存です。

老いゆきて 親の姿を ながめつつ やがては我も かくなりにける

町民体育大会に

— 全員参加を —

体育協会々長 高村 貢

町内の一大行事・秋の体育大会は、今年十月九日・朝九時より小学校の鼓笛隊に続いて入場行進を行います。

今年雨続きの天候で農作業の遅れが有る様ですが、九日は町民全員が集まり楽しい一日になる様にと、体協役員全員で頑張っています。

勝負も大切では有りますが、負けね

◇大代町々民体育大会

日時 十月九日、九時より

場所 大代公民館 広場

。全戸洩れなくご参加下さい。

。雨天の時は、十月十日

ば又、面白く無い。勝敗にこだわれば又楽しく無くなるのが運動会だと思えます。

どうか一日農作業や色々な事を忘れて全員参加をお願いします。

マラソンを初めて三年



下市 熊谷 正 範

健康と体力は私の生命です。弱い人間に成功はありません。生きているとは血が流れていることです。それがとまるのが死。血流がさかんになれば生命力が旺盛となります。

現代の人間は血液が酸化しています。その原因は運動不足、とくに歩くことと走ることが足りないからです。

今、日本列島を走るジョギング人口は二五〇万人といわれています。走る事によって七倍の酸素が肝に送られ

るので心臓機能がよくなり、からだの健康だけでなく「あたまの健康」が必ず得られるのです。

私は昭和五五年、六十歳の誕生日から、ジョギングをはじめ三年になりました。五十歳代の体力と強い精神力が得られたと思います。

日本一石段全国一畑菜師マラソン大会五キロに三回参加、今年も出場します。「マラソンはわたしの生活の一部」です。

高知県よしあきの吉本愛亮さん（八十三才）

は、マラソンを始められたのは七十五歳からで毎朝七キロ走っておられる。

「人間は年に負けてはダメ、足腰から老化が始まるのです」マラソンを続けることによって気力、体力、実行力がついて人生が楽しくなるのです。

自分の身体に適応した健康法を生みだし、長く継続することによって自分が自分の健康を守りたいものです。



「目」の保健に就いて

上市 岡 平

目は、めだまと、まぶたと一緒にし

たもの、眼は目玉だけが本来の意味ですが、今はすべての目の周辺も入ることになって「視る」「当る」以外に、全身の疲労や疾病に注意せねば眼病が治らない場合もあります。

テレビや本を近すぎて見たり、強い光に当たったり、濃色のサングラスで暗い所に居たり、すべて視る道具を粗末にすることになるのです。物にぶついたり、ガスや揮発性の気体で刺戟しないよう、小さなゴミや強い冷氣熱氣に当らぬようにすることは、眼の保健に必要です。勿論、手で眼の近くへ当るのも、結膜炎などの場合、流行時は注意すること。

ゴミが入ったときは流水・水道水などで洗ったり、近かつたら医師の元へ走ることもあるでしょう。

全身病が原因の例は、糖尿病性網膜炎、高血圧性網膜炎、麻疹、夜盲症などです。これらは医師に受診することですが、一応、眼の変化の場合は、白玉（結膜炎）は赤くなれば冷やす、黒玉（角膜炎）が悪くなればぬくめるとは云いますが、これも相談か受診して

きめることです。

眼は心と体の窓です。大切に。

秋の交通安全について

— 新任の挨拶に兼ねて —



大代駐在所 安食洋児

この度、九月の警察異動で大代駐在所に勤務することになりましたので、挨拶に兼ねて、交通安全についてお願いしたいと思えます。

大田市内では、今年になってすでに七名が交通事故でなくなっています。

原因は、暴走・いねむりなどで、運転者の責任が重大です。

また、飲酒運転も依然として減っていません。

現在のように、各家庭に車があり、運転する人がいる時代にあつては、事故を防ぐのに特に家庭の果す役割が大きいと思えます。いつ家族が、被害者になり、また加害者となるかわかりません。

家族一人々々が、事故の当事者になつたつもりで、原因や、防ぐ方法を話し合つてみて下さい。

事故を起こすのは、自分であり、被害者は、自分の親や子供なのです。

自治会の紹介（山田）

— 奉仕作業を終つて —

自治会長 泉 朋納

山田集会所は、地域的には恵まれた位置に設けられているが、長い歳月を経ており外観よりも内部で補修或は設備を要する状態であつた。

そこで協議の結果、会員の奉仕により作業を行う事にしました。当日は職人の方、或はその道の練達者を中心に夫々に分れ、便所の新設をする組、水道敷設の組と一同汗を流し、たつぶり一日を要して作業を完了しました。

集会所とは云え常設のトイレもなく、ましてや水道も有線放送設備もなかったものが一日で凡て整い、便利で利用価値の高いものにする事が出来ました。之等尊い奉仕の賜であると思えます。又、旧山田寺境内に残置され訪れる人もなかつた井戸公の碑も此の際、人中へ出す事として集会所隣で六地藏堂と並んだ地へ移転しました。今後、道

行く人も公の偉業を偲び感謝の意を捧げる事でしよう。奉仕の尊さに感謝して茲に紹介します。

読書会近況

上市 木村 富美子



大江高山にも秋の気配を感じる今日、此頃、一冊の本との出会いから八年、それによって広がる縦・横のつながりを大事にして来てよかつたと感じている私達です。

ながなが良き指導者の先生に恵まれてきました。今年、読書会を指導下さる先生はいらっしゃいません。おいでにならなくても一冊の本が私達の会を支えてくれています。唯、今十人のスタッフでやっておりますが、時には女性ならではの悩みのぶつけあいであったり又、人生のアドバイスのやりとりの時であったり、こんな時のある会でもいいのじゃないかと思っております。細くとも長く続ける努力が生涯教育にもつながるのではないかと話し合っております。

趣味を同じゅうされる方々、一冊の

本との出会いを大事にされませんか。

公民館応募

俳句

題「夏の自由課題」

柏手も

いとまばらなり 夏祭

柚子青く

見えかくれつゝ 香りける

故郷へ

思い新たに 墓参人

織部皿

亡父を偲ぶや 盆座敷

サルビアの

一際燃えて 通り雨

遠来の

客にもてなす トマトもぐ

山峡の

湯煙立つや 河鹿啼く

炎暑中

来客重ね 涼新た

明けやらぬ

旱月空裂く ホトトギス

換声の 里の花火に 踊り止み

(選評は後日にて)

おしらせ

◇赤ちゃん誕生

おめでとございます

下市 井田義道

ひろみ 裕美ちゃん(女)

下市 佐藤哲朗

れんこ 玲子ちゃん(女)

同 京子

◆「俳句」を募集致します。

題……秋の自由課題です

切……十月三十日

審査……あすなる会

発表……十一月館報ひろばにて

入選……粗品進呈致します

お願い

一、公民館の夜間無断使用について

特にガス栓の使用放置

一、不燃物置場の使用状態が悪くなり

ました。

